

前略 突然このようなお手紙を差し上げますこと御容赦
下さい。ドナー様に御提供頂いた臍帯血によって私共の息子が
以前の元気を取り戻したことで是非お礼を申し上げたいと思っ
たペンをとりました。

息子は今年一月 生後八ヶ月の時に発病し、若年性慢性骨髄性
白血病との告知を受けました。治療は早期の骨髄移植しかない
と言われましたが、骨髄バンクの照会で適合者が見つからなかった
時は、深い失望とやりばりのない怒りとで押し潰されそうでした。
親の私達には何もしてやれない情けなさと絶望感でいっぱいでした。
そんな時 半ば諦めていた臍帯血バンクで適合する血液があつたと
聞かされた。一片の希望を抱くとともに名古屋の名も知らぬドナーの
方に唯々感謝した。幸い、移植後 大きな問題もなく
日、一日と元気を取り戻し、いよいよ移植した病院を退院すること

になりました。すべて、ドナー様や、ドクター、スタッフの方々の御陰
です。本来ならば、お念いしてお礼を申し上げるべきところですが、
ドナーとレシビエントは、互いに素姓を知ることが許されないと
事情ゆえ、このような形でお礼を申し上げることをお赦して下さい。
本当にありがとうございます。息子が成長し、物心がついたら
いつの日か、君の生命は善意の人によって助けられ、多くの人によつて
支えられてきたのだと話してやりたいと思います。そして願わくは
本人からもドナー様にお礼を申し上げられる日がくればと思つてます。
末筆ではありますがお子様のご健やかな御成長と御家族の
皆様の御健康、ご活躍をお祈り申し上げます。

敬具

平成十年十一月三日